

地域新聞みあき 第22号

地域新聞みあき製作委員会
令和6年(2024年)6月1日発行
連絡先  info.miaki@gmail.com
公式HP  https://www.miaki.org

4年ぶりの通常開催、 三秋通常総会

(文責) 原田 浩明



4年ぶり制限なしで開催された総会

新任役員プロフィール



左から竹本新専務総代・折井新区長・仙波新総代

3月10日、令和5年度三秋通常総会が開催されました。令和2年以来、4年ぶりの通常開催となった今年は、執行部三役全員が任期満了となる為、各種事業及び会計報告の後、役員改選が行われました。旧役員の皆さん大変お疲れ様でした。そして、新役員の皆さん宜しく願います。

今年度(令和6年度)改選となりました新役員3名の方をご紹介します。以下次の形式にて記載。

- ①氏名(フリガナ)・役職・年令・趣味特技等
- ②新年度への抱負について
- ③地域新聞みあきに期待すること或いは思うこと
- ④住民の皆さんへ一言

①折井敬(オリイタカシ)・区長・75歳・スポーツ観戦(北山女子ソフトボール監督で全国優勝)
②今年元旦に起きた能登半島地震を見て、明日は我が身かも知れませんが、南海トラフ地震も何年後かに起こると言われています。日頃から家族で話し合って準備して、自分の命は自分で守りましょう。

③2016年4月にみあき新聞が始まった、役員の皆さまと関係者の努力に感謝します。今後とも三秋住民の皆さまの力を借りて益々発展するように願います。

④高速道路の工事も終わりに近づいています。今年度からは大池の改修工事が始まり、住民皆さまにおかれましては、ご協力のほど宜しくお願いします。また、部落行政につきましてもご協力宜しくお願いします。

①竹本光一(タケモトコウイチ)・専務総代・64歳・大型バイクでツーリング
②地域のことで、何も知らずにスタートして1年間過ぎていく中で、行事ごとに参加して地域のことを知る機会になればと思う。
③皆さんが少しでも興味を持つような話題作りに取り組んでもらいたい。

④地域のことに興味を持ってもらいたい。

①仙波尚(センバタカシ)・総代・60歳・DIY(日曜大工)で作る物は、愛着が湧き、何か特別な物に感じます。

②石川県能登地方で最大震度7を観測する地震がありました。中央構造線・伊予断層が近くを走る三秋地区において、災害時の防災はとても重要なことだと思います。これから少しずつ勉強し生まれ育った三秋地区に、少しでも役に立てれるように努めさせて頂きますので、何卒宜しくお願い致します。

③集落活性化イベントのレンコン収穫体験会は、活気があふれ、楽しく記事を拝見させて頂いております。また、長く住んでいる土地や馴染みの外と知らないものです。三秋の歴史を知ることができ、大変ありがたいです。

④総代という立場には、まだまだ未熟な点が多々あることは承知しておりますが、精一杯運営に携わって参りたいと思います。皆さまの温かいご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

愛大生と山頂社祠の再生を完了!

(文責) 中藤 彰悟

最初の登山イベントの後、有志にて林野庁の「森林・山村多面的発揮対策交付金」事業による補助を受け、3年間登山道(古道)整備の活動を行ってまいりました。この場をお借りして、活動を見守って頂いた、地権者様及び自治区の区長・役員の方々、地域の

皆様に、改めて感謝・御礼申し上げます。

コロナ禍の中での制限された活動ではありましたが、愛媛大学・笠松浩樹准教授と配下の学生の皆さん達の力を借りまして、入り口から1km程の古道の整備と、その古道の先にある里山の針葉樹林帯の間伐を実施いたしました。

そして、補助金事業が終了した昨年度(令和5年度)は、笠松先生による『地域連携実習』という授業において、三秋地区を対象に、学生さん達に実践活動に携わっていただくことで、古道プロジェクトの活動を継続することになりました。

そこで、「三秋の歴史を踏まえ、三秋の未来を考える」という実習目的のもと、昨年6月17日・18日に明神山や大池の歴史・文化を探るための「現地取り調査」を行い、住民と企画・実践するための活動として、崩れて放置されていた明神社の祠をどうにかしようという事で、祠を石製にして再設置する事となり、三秋自治区が製作してくれた石製明神神社祠を再設置するた

新しい祠の設置 当日の様子

左上から

・登山前のミーティング

・祠設置前の山頂の様子

・新旧の祠

・新しく再設置された祠



め、10月14日に「古道の登頂登山」を行いました。
設置登山では分割したとはいえ、30kg近くの重い荷物を背負っての登山では、傾斜が急で歩みを進めづらく、場所によっては草木をかき分けながら進まなければならず。山登りに慣れた学生であつても体力的な負担が大きかつたようです。中には、「命の危機を感じた」という感想もあり、気軽に登ることが出来る山ではないという印象を持ったようです。
しかし、そんな苦勞を越えて頂上に着き、無事に帰って来る事ができれば、それは楽しさと爽快感に変わります。景色の変化、仲間とともに得られる達成感、かけがえのない経験になったことでしょう。
今後は登山道を維持しつつ、もう少し登り易く出来るような道が付けれる様、なんとか活動出来ればと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

『愛高警備保障』交通 警備女性リーダー 奮闘記

(文責) 吉岡 満

高速道4車線化明神山トンネル工事が、2018年8月より開始された。国道378号三秋入口から明神トンネル工事現場間の三秋工事道路に於ける交通整理、警備等に『愛高警備保障』女性リーダー・城戸職長他6名の隊員が配備された。主任務は地元車の優先、工事車両のスピード30km/h厳守による交通事故防止、地元住民の安全・安心の確保である。

地元車はありがたうと手を上げて378号へ。各隊員に於いては、自己健康管理の徹底、相互啓発(鼓舞)、絶対に交通事故を起こさない使命感・責任感の強さを感じた。三秋地区の任務に於いて、自らが成長したとも言っていた。地元住民および関係者のご協力・ご支援があった。延べ5年8ヶ月の間、交通事故0件、道中のトラブルなく、地元民の安全安心した生活の確保に貢献した。2024年3月、大林組トンネル工事は完了、高速道明神山トンネルは完成した。

今回、当新聞の記事に際し、取材協力頂いた『愛高警備保障』の警備員の方々より、コメントを頂きましたので、ご紹介します。



城戸リーダー

通勤・農作業とお忙しい中、お急ぎの時もあるのにも関わらず交通誘導にご協力頂き、感謝しております。今後も宜しくお願い致します。



河本さん

三秋道で警備することに心掛けたこと ①地域の方とのコミュニケーション ②工事車両のドライバーの方とのコミュニケーション ③三秋の池入口

とJRのカルバートの区間を片側にした(カルバートの出口で何度も追突しそうになつた為)④工事車両のスピード厳守(守れない車両に対しては元請に報告)⑤見やすい立ち位置での合図⑥警備員との無線での情報連携



上岡さん

三秋の住人様の心温かいご協力により、工事車両との事故無く円滑に行程が進んでおりますことに、私は心から感謝いたしております。



時岡さん

私の担当する場所は、近隣の方と接する機会が多く、皆さんに助けられていることを常日頃実感しています。これからも周りへの感謝を忘れず務めていこうと思います。



村上さん

三秋の皆さんのご協力のおかげで円滑で安全な交通誘導ができることに感謝しています。



銅鍋さん

一生懸命誘導頑張りますので、通りかかったら声掛けしてください。



高橋さん

いつもご協力ありがたうございます。これからも迷惑お掛けしますけど、宜しくお願い致します。



取材協力頂いた警備員の皆さん

愛高警備保障の方々へのお礼

(文責) 前区長 西村 常貞

今回は、明神山トンネル工事に大変ご協力を頂いた愛高警備保障の方々に、お礼の投稿をさせていただきます。約5年前から雨・風・猛暑・

雪・寒波、大変悪天候の中、地域の為に協力頂き有難うございます。時には、地域の方々とコミュニケーションを図って頂き大変喜んでるところです。また、大変交通量の多き時など、迅速に対応し、スムーズに交通の流れを良くしたり、地元優先に貢献して頂いたことは、皆さま承知のことだと思えます。改めて御礼申し上げます。改めて御礼申し上げたいと思います。警備員全員の方々の大きな挨拶にも感謝を受けています。

うです。種類も花崗岩等の石材を加工し、組み合わせた普通型と、地元の自然石を組み合わせた山灯籠に分けることができます。原中の常夜燈は、安山岩の自然石を組んだ山灯籠で、火袋からは後補の作です。高さは、2m15cmで、宝珠と笠は花崗岩、火袋は木枠で造られています。中台・竿・基礎は造立当時のものです。竿の正面に奉太神宮と、石・水・稲・金とあります。

原中の常夜燈

(文責) 日山 貞治

「地域新聞みあき」第7号で紹介された、稲多愛一郎の整理記念碑の横に、常夜灯があります。

灯籠のうち、街道沿いや、寺社の門前などに一對でなく単独である灯籠を常夜燈と呼び、竿の正面に常夜燈の文字が彫られていることが多いです。

伊予市内(伊予地区)で調査した山灯籠は13基で、江戸時代後期の文化年間(1804~1817)のものが9基、幕末の安政6年が1基、明治時代のもものが3基確認できました。とりわけ、文化13年(1816)の山灯籠は4基あり、三秋の他に上野の本村集落内と天神社、宮下の伊曾能神社に残っています。



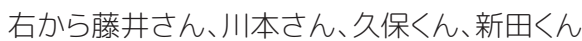
灯籠全景

(文責) 稲多 早苗

中学卒業



小
学
校
卒
業



藤井彩佳（ふじい あやか）さん、久保大和（くぼ やまと）くん、川本朱里（かわもと あかり）さん、新田楓牙（にった ふうが、中村地区）くん、小学校ご卒業おめでとうございます。小学校で楽しい思い出ができましたね。中学校では生徒数も増え、慣れない日々かもしれませんね。どうか自分らしく、それぞれ

播磨柚姫（はりま ゆずき）さん、河野彩和（こうの さわ）さん、中学校ご卒業おめでとうございます。高校では同じ夢を見る友人に出会う機会もあります。部活、勉強にと、目まぐるしい日々と思います。どうか、自分を大切に、伸び伸びと成長できますように応援しています。

新入生・卒業生の皆さんより直筆のメッセージを頂きましたので、ご紹介します。

なまえを おしえてください

た	しょうがっこうでがんばりた
い	
こ	
と	
は	
な	
ん	
で	
す	
か	

	ち	ズ
	グ	く
	ん	ズ
	いお	と
	い	か
	ま	け
	す	ズ
		ん

ぼくのしょう学校で
 まもいてはしゃぐ
 ところでは
 まつわみやきを
 食べました。
 中学校では
 やきゅうをかんぱ
 りたいです。
 ベンキューもかんぱ
 いたいです。

久保
大和






©1984/99 SANRIO CO., LTD.

小学校での思い出は、
修学旅行です。友達とホテル
でカードゲームをして楽しか
たからです。
中学校では、勉強をがんばり
たいです。目標をしっかりと
立ててラストでも良い点を取り
たいです。

藤井 彩佳

久保大和くんより

谷本紘之くんより

藤井彩佳さんより



北山崎小学校の鬼の出は、修学
旅行です。げんばくドームで。げん
バクドームは、中々昔におきたこ
んせきみたいのがある、しすごいな
と思った。新田ふうが

新田楓牙くんより

私の小学校の思い出は水泳大会、陸上大会です。水泳大会では、苦手な足にも全かてと
りみ大会番でいい結果を残すことができました。陸上大会では、練習の1つ1つに集中し、努力を
重ねてきました。いよいよ本番、いっせいにスタートしました。走るのとはとても気持ちよかったです。また、
水泳大会も陸上大会も「自己新記録」を更新することができ、努力がむくわれたことをふかくじっかんしました。
私が中学校でがんばりたいことは、勉強、部活です。勉強では、自分の苦手なところをこ
くしく、全教科いい点数がとれるようにがんばります。部活では、また何部に入るか決めていませんが、
スポーツ部に入ろうと思います。1年生〜6年生の体育で学んだことをすべて活かして何事にも全
力で努力できるようにがんばります。

川本 朱里

川本朱里さんより

交は
通じ
ルめ
いて
ルの

(文責) 原田 浩明



4月16日、北山崎小学校にて恒例の交通安全教室が行われました。まずは、校庭内にて実際の道路に見立てた模擬道路で、歩き方や交差点での渡り方などの基本的な交通ルールを学び、次に、実際の道路に出て実践。慣れない動作に戸惑いながらも、警察官の丁寧な指導を受けながら、しっかりと身につけた新入生の皆さんでした。



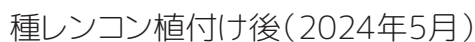
自生と再生の ハイブリットレンコン

(文責) 原田 浩明



今年で、6年目を迎える『レンコン収穫体験会』用のレンコン栽培がスタート。例年通り、4月初旬に種レンコンの掘り出しと、植え付けを行った。今年は、特に自生レンコンの活用を意識した栽培が特徴だ。ここで言う『自生レンコン』とは、その年のレンコンを掘り起こさず、そのまま翌年の種レンコンとして栽培したレンコンである。逆に、掘り起こしたものを種レンコンとして植え栽培したレンコ

ンは『再生レンコン』と呼ぶ。1年目から栽培管理を担っておられる吉岡さんによると、4年目から試験的に一部自生レンコンとして、再生レンコンと一緒に栽培しており、その結果、自生レンコンの方が草勢が強い傾向にあるという。元来、レンコンは連作障害を起こしやすい作物と言われており、毎年植える場所を変えながらローテーションで栽培するの一般的であるとされているが、当三秋においては、イベント上の都合もあり、1年目から同じ畑で栽培。毎年たくさんのレンコンが収穫できている。これは、おそらく栽培で利用している水が明神山からの湧き水であるからではないかと吉岡さんは推測している。その根拠となっているのが、当新聞第8号にて、取り上げた烏谷池の自生レンコンだ（詳しくは第8号を参照）。こちらも明神山からの湧き水で育っており、この点で両者は共通している。今年は、自生レンコンの領域を増やしているので、天候に恵まれれば、例年以上にたくさん収穫できるものと期待される。



読者プレゼントコーナー ～通常他路線を運行する車両に関するクイズ～

J R 四国で、通常は「愛ある伊予灘線」を運行しない、他の路線を運行している車両です。

Q. A～Cの車両は、次のうちの名称で呼ばれていますか。



一番右側の車両



一番左側の車両



右側の車両

応募方法



応募フォームこちら QRコードからアクセス)のいずれかにてご応募ください。正解者の中から抽選で1名の方に図書カード500円分をプレゼントいたします。

宛先 〒799-3124 伊予市三秋甲271-2
地域新聞みあき事務局 宛

Eメール info.miaki@gmail.com

応募締切 2024年9月9日(月) 必着

当選発表 本紙第23号にて

※ご応募いただいた皆様の個人情報(住所・氏名・電話番号)は事務局にて厳重に管理し、プレゼントの発送及び当事務局からのお知らせ以外の目的では使用いたしません。

第21号のクイズの答えと解説

- 答え ① 三秋口(A)
② 三秋消防団詰所(B)
③ 三秋(C)

解説

三秋線には、3箇所のバス停がありますが、始発点の三秋から三秋口までの間は、フリー乗降区間になっているので、区間内ならどこでも乗り降りができます。

運行日:月～金 運休日:土・日・祝日・12/29～1/3

問い合わせ先:伊予市 経済雇用戦略課

代表 Tel 982-1111



第21号の当選者は伊予市の福森さんです。おめでとうございます。

編集後記

最近、野草に興味を持つようになり、食用に適した野草を文献やネット等で調べて、美味しい調理法を研究しています。食用に適した野草がそこら辺に生えている草の中に意外とあること、そして、季節ごとに様々な種類あり、地域特有の草も存在していることを知り、更に興味が湧いてきました。皆さんの身の回りにもあると思いますので、一度調べてみてはいかがでしょうか。

みあき図書館

(文責・岡田 有利子)

『いよし百冊物語』

いよ本プロジェクト運営委員会(編集・発行)

令和元年第10号から、この「みあき図書館」を書かせてもらっています。12回目となる今号では、自己紹介をさせて下さい。私は伊予市内で「いよ本プロジェクト」という本に関わる活動をしています。紹介型の読書会や古本の交換会を開催しながら、南伊予で私設図書館ビブリアAAを開館しています。2019年から始めた活動も、6年目となりました。ひょんなことからご縁があり、ホテル観賞会に参加したり、レンコン収穫体験会を手伝ったり、なかなか毎月は参加できませんが、地域新聞みあきの編集委員会にもお邪魔しています。いわば、三秋の人間ではない私ですが、こうした形で関わらせてもらい、大変感謝しています。

さて、そんな私が行っている活動で、昨年『いよし百冊物語』という冊子を発行しました。「あなたが好きな本を1冊教えてください！」伊予市に住む人関わる人約100人に、本を1冊紹介してもらい、それらをまとめた冊子です。この冊子を作成するにあたり、三秋でも事前に「推し本紹介読書会」を行いました。そして、冊子では三秋の方が8名登場してくれました。おかげさまで大好評だったこの冊子。「私も書きたい！紹介したい！」という声を受け、現在第2弾の制作準備に取りかかっています。

昨年発行した『いよし百冊物語』第1弾につきましては、図書館や伊予市内の公民館でも見ることができます。お目にかかる機会がありましたら、ぜひ、あなたの好きな本も教えてください。



うちの家族を紹介します (文責・日山 貞治)

No.13 武知錠司さんの「ジュン」ちゃんと「ミー」ちゃん



性別 女の子

年齢 11歳 5月22日生まれ

犬種 黒のトイプードル

性格 年を重ねたせいで、体毛が少し白くなっていますが、負けん気が強く、元気いっぱい、走るのが速い子です。知っている人がいれば、大変喜んでくれます。



性別 さび猫の女の子

年齢 11歳か12歳?

会社に迷い込んできた子ですが、家族の一員になりました。

性格 今は、体調を崩しがちですが、体調の良い時は、外に出て自由に過ごしています。

次号では、新しく家族になった「おいも」ちゃん「こむぎ」ちゃん「おこめ」ちゃんを紹介します。

公式 Instagram



miakinews

皆様の家に古い写真が眠っていませんか？昔の風景やお祭り等、三秋に関する昔の写真がございましたらご連絡ください。また、その他の投稿・情報・写真も随時お待ちしています。★みあきの〇〇〇★うちの家族を紹介しますetc...。自薦他薦問いません。お近くの当新聞編集委員会もしくは、メールにてご連絡下さい。

info.miaki@gmail.com

おらせ

メールアドレスQR

